

 評価のポイント

CL-新人. 看護実践能力：ニーズをとらえる力

【8-新人】小児のフィジカル・イグザミネーションの基本

年齢：4歳 / 性別：女児 / 病名：気管支喘息で入院中 / 酸素投与：なし（room air 下）夜勤中（明け方5時ごろ）あなたは、聞こえてくる咳嗽の頻度が増えていることに気がつきました。パルスオキシメータの数値は、SpO₂96%前後を示しています。

問1）患児の年齢を踏まえながら、4診+問診としてどのようなことをイグザミネーションするか考えてみましょう。

問2）また4診+問診の実施後、リーダー看護師への報告はどのように行いますか？考えてみましょう。

今回の事例では、軽微な症状ではありますが、小児が示す軽微な症状をフィジカルイグザミネーションを通して客観化し、統合していくことが大切となります。今回の評価のポイントは以下となります。

- ・酸素飽和度が正常範囲内にあるため、数値にとらわれて判断をしていないか。
- ・咳嗽という症状を状態悪化の可能性を示唆した1つのサインとして捉えて視診・聴診・打診・触診+問診をもとに咳嗽を軽視せずに考えられることを評価とします。
- ・さらに4診+問診が、呼吸器だけにとらわれず、意識、循環も含めて統合的に考えることができているか多角的に捉えている場合は、プラスの評価となります。